

～つながる支援～ 早期診断と適切なケアで自立生活をサポート

「越谷市認知症初期集中支援チーム」を設置します

◆概要

平成 29 年 2 月 1 日より、認知症になっても、安心して生活できるように、早期診断と適切なケアで自立生活をサポートする、「越谷市認知症初期集中支援チーム」を設置いたします。

この「越谷市認知症初期集中支援チーム」は、国の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に基づき、平成 30 年度までに全国の市町村に設置することとされており、チーム員は、認知症専門医 1 名と、医療、介護の専門職 2 名以上で構成することになっています。

今後の高齢化の進展に伴い、これまで以上に認知症の人が増えていくことが予測され、高齢化に伴う認知症の人の増加への対応が全国共通の課題となっている現在、認知症の人やその家族に早期に関わることで、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指すものです。

◆チームの構成と活動内容

本市では、認知症専門医 1 名と各地域包括支援センターの看護職・介護職 2 名（2 名×11 包括）で構成するチームが、医療や介護につながっていない認知症の人や疑いのある人及びその家族の自宅を訪問し、必要な医療や介護の導入・調整や、家族支援などの初期の支援を集中的に行います。集中支援の期間は概ね 6 か月とします。

主な支援内容は、専門医療機関への受診に向けた動機付けと継続的な医療支援へのアプローチ、介護サービス利用の勧奨・指導、認知症の状態に応じた助言などで、支援方針・内容、サービス調整等については、チーム員会議で検討し、決定します。

◆支援対象者

在宅で 40 歳以上の認知症が疑われる人や認知症の人で、下記のいずれかに該当する人

- ① 医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人
- ② 医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に困っている人

◆相談経路

市民からの相談は、これまで通り「市内の各地域包括支援センター」及び「市役所・地域包括総合支援センター（地域包括ケア推進課）」で受付し、該当の事例に対応いたします。

<問合せ> 福祉部地域包括ケア推進課
Tel 963-9187